

[成果情報]高冷地における飾花に適したラベンダーの有望品種

[要約]高冷地での飾花に適した有望品種は、イングリッシュ系では「シャインブルー」を含む7品種、ラバンディン系では「アラビアンナイト」、「スーパー」の2品種である。

[担当] 山梨県総合農業技術センター・高冷地野菜花き振興センター・花き応用育種科・山口優子

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

ラベンダーは、岳麓地域や八ヶ岳南麓地域で飾花や苗生産が行われているが、品種数が多いため、特性の把握や優良品種の選定が求められている。特に、岳麓地域では、ラベンダーによる飾花が夏の風物詩となり観光や景観形成に大きく寄与してきたが、定植後、長期間株もちする品種が求められている。そこで、品種ごとに越冬性や観賞期間などの特性を明らかにし、高冷地に適した飾花向け品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

イングリッシュ系 22 品種およびラバンディン系 7 品種より、生存株率、耐寒性、耐暑性、株張り、枝数が対照品種と同等以上で、株の大きさが中型から大型の 9 品種を有望品種に選定した。

【イングリッシュ系品種】

1. 早生の有望品種は、「長崎ラベンダー リトルマミー」と「ブルースティエリー」で、いずれも二季咲である。「長崎ラベンダー リトルマミー」は枝数が多く（表1）、開花・発蕾枝数も多い。
2. 中生の有望品種は、「ロングパープル」、「ほのか」、「シャインブルー」、「ブルーマウンテン」、「イレーネドイル」である。枝数は、「シャインブルー」が多く、「ロングパープル」、「ブルーマウンテン」がやや多く（表1）、開花・発蕾枝数は「シャインブルー」、「ロングパープル」、「ブルーマウンテン」がやや多い。
3. 「ほのか」、「ブルースティエリー」、「イレーネドイル」は中型の株であるため、狭い場所に植えることが可能である。特に「ほのか」は枝が固く株の乱れが少ないため、通路周辺への植栽に適する。

【ラバンディン系品種】

4. 有望品種は「アラビアンナイト」、「スーパー」の2品種で、いずれも晩生の大型株である。「アラビアンナイト」は耐寒性が強く、耐暑性も兼ね備えており、「スーパー」は耐暑性が強く、耐寒性も併せ持つ品種である（表2）。

[成果の活用上の留意点]

1. 本試験は当センターの八ヶ岳試験地（北杜市高根町、標高 955m）において実施した。
2. 飾花場所の標高や気候、樹齢や管理状態により観賞期間や株サイズは変動する。
3. 高冷地でのせん定は秋季ではなく、春先の萌芽後に行う。また、開花後は花茎を早めに切り戻す。
4. 施肥は、通常春と秋の2回行うが、緩効性被覆肥料を用いることで、年1回に省力化できる。

[期待される効果]

1. 有望品種を用いれば早期成園化や、観賞期間の異なる品種を組み合わせたリレー咲きが可能となる。
2. 公園利用等の新たな需要の掘り起こしにつながる。

[具体的データ]



図1 イングリッシュ系品種「シャインブルー」

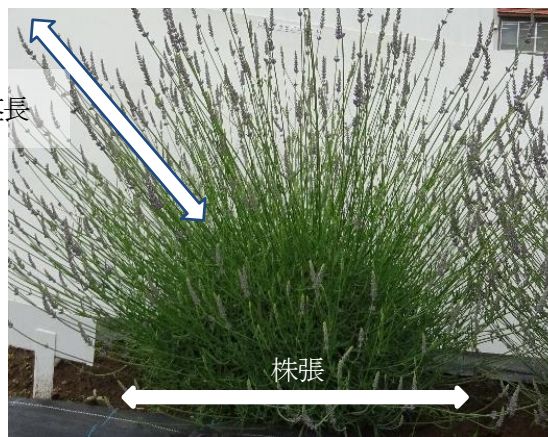


図2 ラバンディン系品種「アラビアンナイト」

表1 イングリッシュ系有望品種の特性

品 種	生存株率 ^z (%)	耐寒性 ^y	耐暑性 ^x	株張口 (cm)	枝数口 (本/株)	観賞期間 ^w (月日)	色		花茎長 ^v (cm)	主な特色
							蕾	小花		
(早生品種)										
長崎ラベンダー リトルマミー ^u	100	◎	◎	105.5	1240.7	6.1 ~ 7.1	青味紫	浅青味紫	34.8	径の大きい花穂、秋の花穂数やや多
ブルースティエリー ^t	100	○	○	69.3	440.0	6.9 ~ 7.2	濃青味紫	明青味紫	18.1	秋の花穂数はやや多から並と年変動あり
濃紫早咲き3号(対照)	91.7	○	△	52.9	545.0	6.5 ~ 7.2	濃青味紫	明青味紫	25.7	径の大きい花穂、株サイズがそろいにくい
(中生品種)										
ロングパープル	100	◎	◎	106.4	716.7	6.12 ~ 7.9	濃青味紫	明紫	27.2	濃い紫色の蕾と花、長い花穂
ほのか ^t	100	○	○	77.6	502.0	6.12 ~ 7.7	濃青味紫	明青味紫	14.4	風雨による株の乱れが少ない、秋の花穂数多
シャインブルー	100	◎	◎	118.3	954.0	6.13 ~ 7.6	鮮青味紫	明青味紫	17.9	輝くような蕾と葉の色
ブルーマウンテン ^u	100	○	○	105.0	748.0	6.13 ~ 7.9	青味紫	明青味紫	32.3	青味の強い蕾、長い花穂、秋の花穂数やや多
イレーネドイル ^u	100	○	○	87.1	572.5	6.15 ~ 7.6	灰紫	明青味紫	27.6	長い花穂、蕾の色が薄い
おかむらさき(対照)	80.0	○	▲	46.4	493.5	6.16 ~ 7.2	濃青味紫	明青味紫	41.5	施肥後の枯れや花茎の乱れあり

z: 定植から2年1か月後の生存株の百分比、y: ◎:非常に良い、○:良い、△:やや悪い、▲:悪い、x: ◎:非常に良い、○:良い、△:やや悪い、▲:悪い、w: 最外層の蕾の90%が着色してから、管理無しで観賞価値が認められる期間、v: 花茎の上から2対目の葉の上で切除した場合の花茎長、u: 二季咲、t: 長期咲

表2 ラバンディン系有望品種の特性

品 種	生存株率 ^z (%)	耐寒性 ^y	耐暑性 ^x	株張口 (cm)	枝数 (本/株)	観賞期間 ^w (月日)	色		花茎長 ^v (cm)	主な特色
							蕾	小花		
(晩生品種)										
アラビアンナイト	100	◎	○	79.5	535.5	7.1 ~ 7.28	灰紫	明青味紫	51.7	長い花穂
スーパー	100	○	◎	74.0	538.5	7.7 ~ 8.2	浅紫灰	明青味紫	45.1	蕾と葉の色が薄い
グロツソ(対照)	100	○	○	56.8	388.5	6.28 ~ 7.20	灰紫	明青味紫	41.6	

z: 定植から2年1か月後の生存株の百分比、y: ◎:非常に良い、○:良い、△:やや悪い、▲:悪い、x: ◎:非常に良い、○:良い、△:やや悪い、▲:悪い、w: 最外層の蕾の90%が着色してから、管理無しで観賞価値が認められる期間、v: 花茎の上から2対目の葉の上で切除した場合の花茎長

[その他]

研究課題名：花壇苗の新たなニーズに対応した生産技術の確立 (R2~4)

予算区分：県単

研究期間：2020~2021 年度

研究担当者：山口優子、雨宮圭一、赤池一彦